

# 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日まで

証券コード：1944

企  
業  
理  
念

私たちは 優れた設備とサービスを創造し  
社会のインフラを支え 明るく豊かな未来の実現に貢献します

- ・お客様のニーズを把握し、技術力と人間力で安心と安全と快適をお届けします
- ・健全な企業活動を通じて、事業を支える全ての人々の幸せを実現します
- ・従業員が働きがいを実感でき、家族と共に笑顔で暮らせる会社であり続けます

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2022年度通期の状況につきましてご報告申し上げます。

当期の我が国経済は、ウィズコロナの下、社会経済活動が回復に向かう中、企業収益にも緩やかな改善の動きがみられましたが、不安定な国際情勢による物価高騰や急激な為替変動等の影響を受け、先行きが不透明な状況が続きました。建設業界におきましても、企業の設備投資に持ち直しの動きがみられる中、堅調な需要を追い風に、受注は好調を維持しているものの、競争の激化や資材価格の高騰等、未だ厳しさも残る状況となっています。

このような景況下、当期における当社グループの連結業績につきましては、下表のとおりとなりました。

また、配当金につきましては、当期の業績等を勘案し、1株につき年間40円とさせていただきます。このうち先にお支払いした中間配当金の18.5円を差し引き、残り21.5円を期末配当金とさせていただきます。

今後につきましては、引き続き国際情勢や物価高騰等の動向について注視していく必要があります。

当社グループにおきましては、2026年度の成長Vision『連結7,000億円規模の経営』を目指し、中期経営計画『Sustainable Growth 2026～人、心、そして未来へ～』を展開しております。今年度は「飛躍に向けて力を蓄える期間」と位置付けた前半3年の最終年度となります。事業基盤を確固たるものとすべく、各戦略をグループ大で実践しております。

「事業戦略」については、事業基盤の整備・拡充を含め、首都圏拡大・

地域密着深化への取り組みを進めるとともに、エンジニアリング力の更なる向上、DX推進も含めた生産性向上等に取り組んでおります。また、これまで培ってきた技術と新たな技術を活かし、再生可能エネルギー工事の拡大等、新しい分野にも挑戦しております。

「環境戦略」については、当社におけるCO<sub>2</sub>排出量削減目標を掲げ、事業活動におけるカーボンニュートラルに向けた取り組みを進めております。また、当社の技術力を活かして、お客様のカーボンニュートラルにも寄与すべく取り組んでおります。

「人材・働き方戦略」については、当社において最も大切な経営資源は人材であるとの考えのもと、更なる活性化に向けた労働環境・職場環境の整備や、エンゲージメント・モチベーションの向上を図るとともに、生産性向上も含め、働き方改革を進めております。

「コーポレート戦略」では、更なる社会からの信頼を得るため、コンプライアンス・ガバナンスの強化を図っております。

当社グループの企業価値向上、持続的成長・発展に向けて、引き続きこれらの戦略に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも深いご理解をいただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 上坂 隆勇



〔連結業績〕(2022年4月1日～2023年3月31日)

売上高	6,091億3千2百万円	(前期比7.5%増)
営業利益	374億3千万円	(前期比0.9%増)
経常利益	402億4千3百万円	(前期比0.7%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	287億2千2百万円	(前期比8.9%増)

## 連結決算ハイライト(財務諸表)

### [ 連結損益計算書 ]

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2021.4.1~2022.3.31)	当連結会計年度 (2022.4.1~2023.3.31)
<b>完成工事高</b>	<b>566,794</b>	<b>609,132</b>
完成工事原価	469,646	510,106
完成工事総利益	97,147	99,025
販売費及び一般管理費	60,059	61,595
<b>営業利益</b>	<b>37,087</b>	<b>37,430</b>
営業外収益	3,728	3,442
営業外費用	839	628
<b>経常利益</b>	<b>39,977</b>	<b>40,243</b>
特別利益	1,171	2,896
特別損失	1,703	431
税金等調整前当期純利益	39,444	42,709
法人税等	13,379	14,108
当期純利益	26,065	28,600
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△301	△121
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>26,366</b>	<b>28,722</b>

### [ 連結貸借対照表 ]

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2022.3.31)	当連結会計年度 (2023.3.31)
<b>資産の部</b>		
流動資産	442,829	477,557
固定資産	257,430	265,284
<b>資産合計</b>	<b>700,259</b>	<b>742,841</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	159,661	181,806
固定負債	28,755	28,321
<b>負債合計</b>	<b>188,416</b>	<b>210,127</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>純資産合計</b>	<b>511,843</b>	<b>532,713</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>700,259</b>	<b>742,841</b>

### [ 連結キャッシュ・フロー計算書 ]

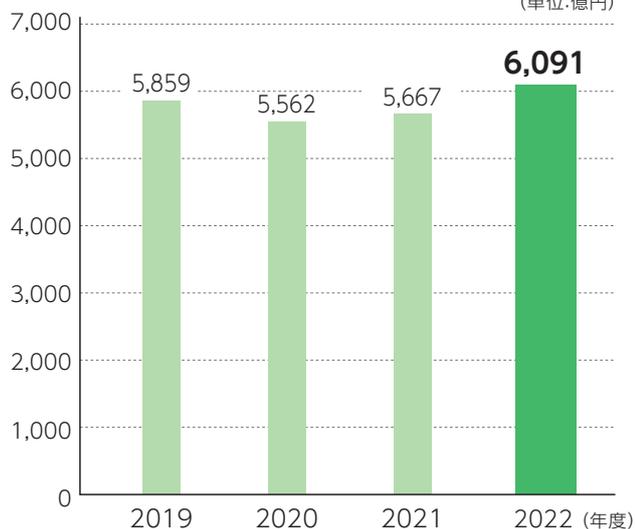
(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2021.4.1~2022.3.31)	当連結会計年度 (2022.4.1~2023.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,952	30,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,977	△27,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,254	△9,340

## 連結決算ハイライト

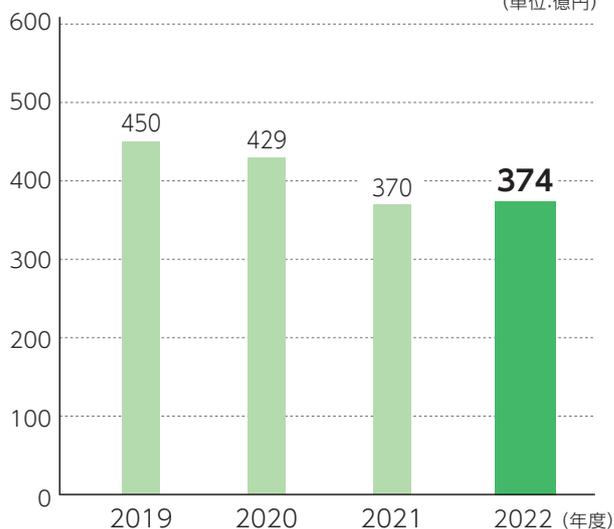
### [ 完成工事高 ]

(単位:億円)



### [ 営業利益 ]

(単位:億円)



## 工事種別売上高(個別)

### 配電工事 構成比 13.4%

関西電力(株)\*の配電線工事など

売上高 ↗ **703**億円(前期比5.9%増)

受注高 ↗ **734**億円(前期比8.0%増)



\*関西電力送配電(株)を含んでいます。

### 一般電気工事 構成比 63.0%

事務所ビル、工場などの電気設備工事

売上高 ↗ **3,298**億円(前期比6.7%増)

受注高 ↗ **3,649**億円(前期比11.6%増)

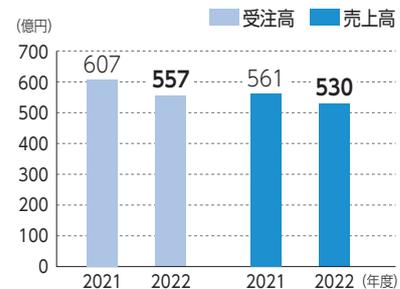


### 情報通信工事 構成比 10.1%

FTTH、携帯電話、LANなどの通信設備工事

売上高 ↘ **530**億円(前期比5.6%減)

受注高 ↘ **557**億円(前期比8.2%減)

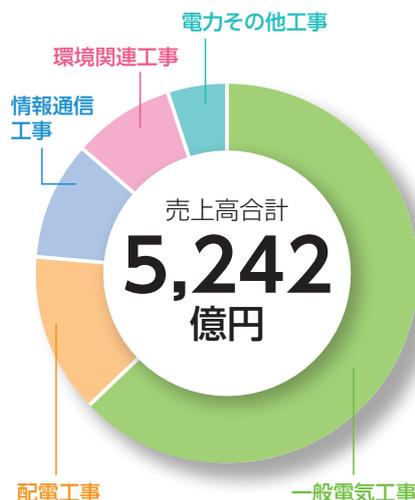
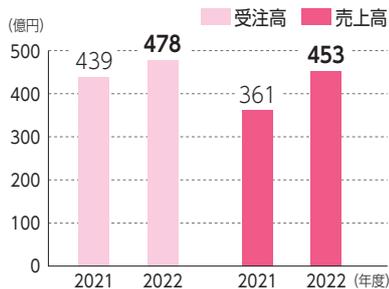


### 環境関連工事 構成比 8.6%

事務所ビル、工場などの空調・衛生工事

売上高 ↗ **453**億円(前期比25.5%増)

受注高 ↗ **478**億円(前期比8.8%増)

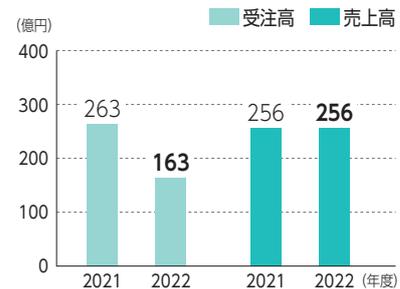


### 電力其他工事 構成比 4.9%

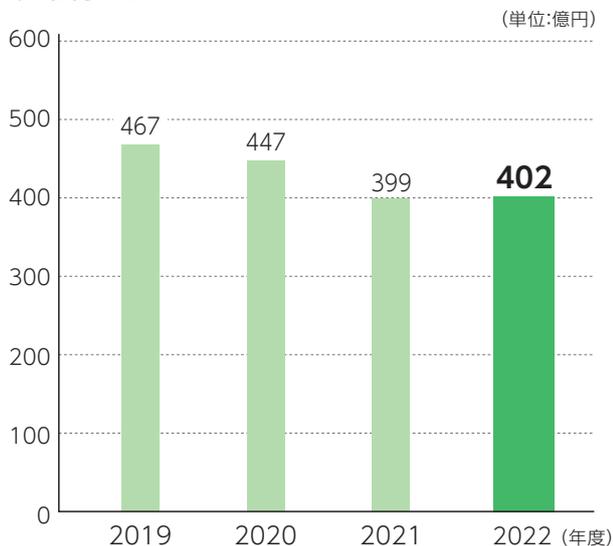
送電工事、発・変電所工事(再生可能エネルギーを含む)

売上高 ↘ **256**億円(前期比0.1%減)

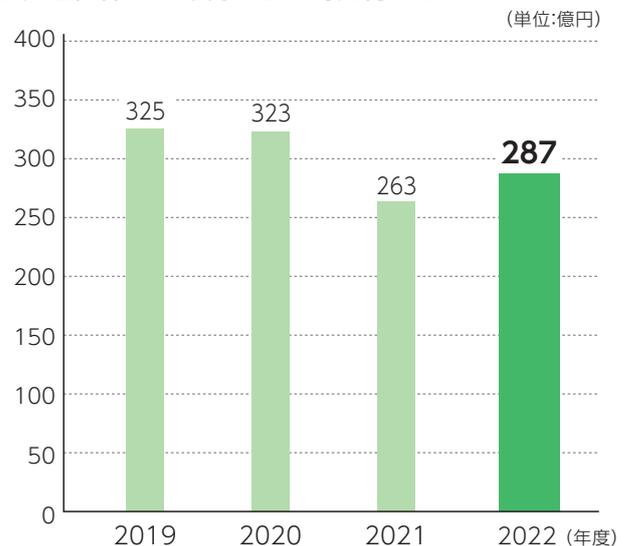
受注高 ↘ **163**億円(前期比38.1%減)



### [ 経常利益 ]



### [ 親会社株主に帰属する当期純利益 ]



## 主な施工実績



東京ミッドタウン八重洲  
八重洲セントラルタワー(東京)



大阪梅田ツインタワーズ・サウス(大阪)



東急歌舞伎町タワー(東京)

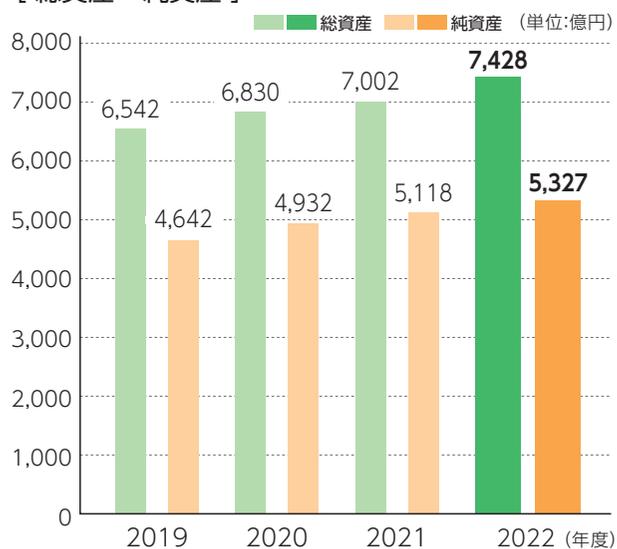


秋田港・能代港洋上風力発電所(秋田)

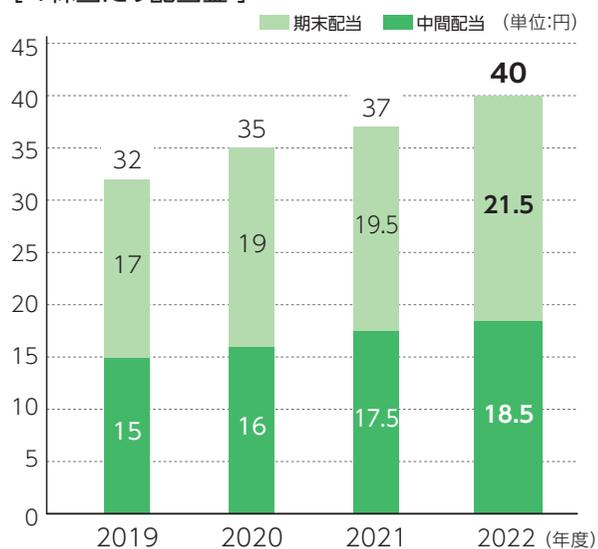


工事用変圧器車を使用した  
間接活線工法による無停電工事(大阪)

### [ 総資産・純資産 ]



### [ 1株当たり配当金 ]



2022年  
4月

## 再エネ工事の中核を担う 再生可能エネルギー工事センター開所式を挙

当社は、中期経営計画における重点経営課題の1つの柱として、「新分野への挑戦:カーボンニュートラル社会に向けた対応(再生可能エネルギー関連工事のさらなる拡大)」を掲げています。

今後、一般海域で展開される洋上風力事業など再エネ工事への対応について責任ある事業体制を構築するため、電力本部管下の「電力工事部再生可能エネルギーチーム」を「再生可能エネルギー工事センター」として、2022年3月16日付けで改組しました。

同センターは再エネ工事のEPC案件に対する主管部署としての役割を果たすとともに、洋上風力発電工事の調査、設計、施工を担いつつ、支店(社)の再エネ工事に関する業務支援および横断的な施工体制を構築し、事業主などとの連携を強化して案件の獲得、施工体制の拡充に取り組み、再生可能エネルギー関連工事の売上高拡大に向けて中核組織への成長を目指しています。

4月28日には同センターの開所式を挙。あいさつに立った上坂社長は「お客さまからのニーズにオールきんでんで対応し、再エネ工事の中核組織として全社をけん引してほしい」と述べた上で、「困難なことがあるかもしれないが、前向きに取り組み、知恵を絞り一致団結して乗り越え、再エネ工事センターを当社の持続的発展につながるエンジンとして大きく成長させていこう」と出席者一同と決意を固めました。



開所式での上坂社長

2023年  
1月

## 第9回ものづくり日本大賞(内閣総理大臣賞)を柳選手が受賞

今回で9回目となる「ものづくり日本大賞」は伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材や製造・生産現場の中核を担っている中堅人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代から特に優秀と認められる人材を顕彰するもので、第46回技能五輪国際大会(特別開催)の再生可能エネルギー職種において金メダルを獲得した柳翔大選手が受賞しました。

今回は技能五輪国際大会の金メダリストなど27人が受賞し、首相官邸において岸田文雄首相から表彰状が授与されました。柳選手は「首相官邸の警備がとても厳重で、緊張感がありましたが、岸田首相や加藤勝信厚生労働大臣とお会いするという貴重な経験ができました」と振り返りつつ、「先輩方も受賞してきた賞を自分も受賞することができ、あらためて金メダルを獲得した実感が湧きました」と話し、今後に向けて「技能五輪の指導をより一層頑張っていきたいと思います。後輩たちにも自分と同じような経験を積ませてあげたいです」と抱負を語りました。



岸田首相(中央)から表彰を受けた柳選手(左端)

2023年  
3月

## 健康経営優良法人に認定

当社は、2023年3月8日に「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に認定\*されました。

当社は、従業員が心身ともに健康であり続け、一人ひとりがより活力を持って働けることが会社の持続的成長の源であるとの考えに立ち、疾病や不健康による生産性低下の抑制を経営課題と位置付け、22年10月に「健康経営」を宣言しました。そして、従業員の健康意識向上と安心して働き続けることのできる職場環境の整備に向けた取り組みが評価され、このたびの認定に至りました。

当社は、今後も従業員一人ひとりが健康意識を高め、行動変容につながるような健康維持・増進施策を実施していくとともに、元気で生き活きと働ける職場環境づくりに取り組んでまいります。

\*健康経営優良法人認定制度とは

経済産業省が16年に創設した制度。特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰するもので、健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」し、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。

### 【健康経営宣言】

きんでんは、人と心を経営の根幹に置き、「従業員が働きがいを実感でき、家族とともに笑顔で暮らせる会社」を目指しています。会社の持続的成長のためには、安全と健康は不可欠のものであり、従業員の健康増進の支援と職場環境の改善を積極的に推進していきます。きんでんは、これからも社会のインフラを支え続けるとともに、「明るく豊かな未来の実現」に貢献していきます。

2022年10月1日 代表取締役社長 上坂 隆勇



## 会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 株式会社 きん でん  
英文名 KINDEN CORPORATION  
設立年月日 1944年8月26日  
資本金 264億1,148万7,018円  
従業員数 8,136名

主な事業所  
本店 大阪市北区本庄東2丁目3番41号  
東京本社 東京都千代田区九段南2丁目1番21号  
支店 中央 京都 神戸 姫路  
奈良 和歌山 滋賀  
支社 大阪 東京 横浜 東関東  
北関東 中部 中国 九州  
北海道 東北 四国 電力

営業所 98か所  
海外事務所 シンガポール、グアム、ヤンゴン、  
サイパン、ドバイ  
研究所 京都研究所(京都府木津川市)  
研修施設 きんでん学園(兵庫県西宮市)  
人材開発センター(千葉県印西市)

## 株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 600,000,000株  
発行済株式の総数 205,141,080株  
(うち自己株式数 465,114株)  
株主数 9,178名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
関西電力株式会社	58,905	28.78
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,265	9.41
関電不動産開発株式会社	14,507	7.09
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	11,802	5.77
きんでん従業員持株会	9,744	4.76
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,912	3.38
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4,986	2.44
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	3,934	1.92
JP MORGAN CHASE BANK 380055	2,989	1.46
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,906	1.42

(注) 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

## 役員 (2023年3月31日現在)

※取締役会長	生駒 昌夫	取締役	鳥山 半六
※取締役副会長	前田 幸一	取締役	高松 啓二
※取締役社長	上坂 隆勇	取締役	森川 桂造
※取締役副社長	湯川 英彦	取締役	相良 和伸
取締役専務執行役員	網崎 雅也	常任監査役 (常勤)	水本 昌孝
取締役専務執行役員	林 弘之	監査役 (常勤)	坂田 亘弘
取締役専務執行役員	田中 日出男	監査役	吉岡 雅美
取締役専務執行役員	西村 博	監査役	鎌倉 利光
取締役専務執行役員	佐藤 守良	監査役	長 勇
取締役	吉田 治典		

(注) ※は代表取締役であります。

## 株主メモ

決算期日 毎年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
単元株式数 100株  
公告方法 電子公告  
(公告掲載URL) <https://www.kinden.co.jp/>  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座の口座管理機関)  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777(通話料無料)  
同インターネットウェブサイト <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### [ ご注意 ]

- 証券会社に口座をお持ちの株主様は、株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設された証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する住所変更、単元未満株式の買取・買増請求などのお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社の全国本支店でお支払いいたします。

#### 特別口座に記録された株式をお持ちの株主様へ

特別口座は証券会社の口座とは異なり、株式を売買することはできません。売買等のお取引を希望される株主様は、証券会社に口座を開いたいただき、特別口座から証券会社の口座に株式の振替請求をしていただきますようお願いいたします。